

未来の希望子どもたちの心身守る体制整備を

(1) 幼児教育・保育の無償化について

高) 子育て世代の追い風となる幼・保教育の無償化が10月開始に。負担軽減の試算額を待機児対策や障がい児受入拡充等に充てるべきと考えるが現状をふまえ市の方向性について問う。

市) 本市は更なる待機児解消と障がい児保育のニーズに応える為に財源を投入していく考えだ。

(2) 学校給食費等の徴収方法を公会計化に

高) 各校指定金融機関での引き落としや教員が行って来た徴収業務をコンビニ納付等に見直し保護者の利便性アップを。又諸事情のある家庭には庁内連携して慎重を期し丁寧な対応を。

市) 文科省からも教員の業務負担軽減の通知が

来ており保護者の利便性からも実施する。納付困難なご家庭には相談に応じて丁寧に対応する。

(3) 子ども達の自殺・いじめ・虐待防止対策を

高) 長期休業明け様々な悩みを抱え登校が困難なお子さんもいる。一人で悩まず相談する事の大切さや子どもSOSダイヤル等相談体制を周知し本人や家庭の支援も丁寧をお願いしたい。

市) 子ども達の欠席理由を慎重に把握し長期不登校の状況に応じ全庁あげて対応を図っていく。

(4) 市外での検診・健康診断の受診について

高) 市境の住民から市外の医療機関の方が近い為受診要望が。その後進捗は？粘り強い交渉を。

市) 隣接市での受診希望者がいる事は把握して

公明党
高橋 りょう子



いる。健診項目や単価設定の違い、医師会の事務負担の調整を図る等今も協議を継続している。

(5) 受動喫煙対策について（※他人の煙草の煙が子どもや妊婦、非喫煙者等に影響する事）

高) 東京都はオリンピック・パラリンピックに向け病院や学校・保育園の敷地内等原則禁煙規制をと。本市の整備体制について考えを問う。

市) 東京都受動喫煙防止条例制定を踏まえ本市も健康推進課が取りまとめ庁内周知整備する。

その他①高齢者を守る特殊詐欺被害防止対策を。②来庁者が親しみやすい窓口ネーミングを等質問。

意外と近い!? B S L—4施設稼働

B S L—4施設について

だて) 今夏より、武蔵村山市にある国立感染症研究所はエボラ出血熱等の特定一種病原体を研究するB S L—4施設として運用開始となった。当市から直線距離で数キロしか離れていない施設であり、新たな危機管理事象として、国や武蔵村山市との情報共有体制が必要ではないか。

市) 国や関係機関が連携して協議会を構成している。万が一の際には当市も連携対応していく。

だて) 近隣施設であるが、知らない方が多い。市の考え方などを整理し、市民に情報提供できる環境を構築しておくべきである。

市) 市民に不安を与えない形での提供を検討。

多胎児支援（双子や三つ子）について

だて) 低年齢の双子などの多胎児がいる世帯は協力者がいない場合、外出を控えがちになり、孤立化の傾向があると聞く。当市も支援メニューがあるが、不十分と感じる。拡充を求める。

市) 本年7月から子育て世代包括支援センター事業を開始した。きめ細かなケアを追求し、多胎児世帯の実情や課題を把握し支援に繋げたい。

武道館の建て替えについて

だて) 多くの利用がある本多武道館は築50年近く経過し、老朽化が著しいが今後の方針は。

市) 現在の計画では来年度から長寿命化改修を行っていく事となっているが、公共施設の再配

国分寺政策市民フォーラム
だて 淳一郎



置の中で総合的に考えていく対象である。

だて) 新市役所の場所によって、選択肢も出てくるのだと認識している。武道の普及発展のため、武道館の建て替えを求める。また、当面の対応として更衣室やトイレ等の改修も要請する。

東京都の踏み間違え防止装置助成について

だて) 東京都が7月から高齢者向けに、自動車のペダル踏み間違え防止装置設置の9割助成を開始した。制度の周知と豊島区で行っているように残り1割分の当市負担はできないか。

市) 事業の動向を見ながら研究を行いたい。

誰ひとり取り残さない持続可能な市政を

■多様な色覚や見え方に配慮したユニバーサルデザインを岩永カラーユニバーサルデザイン(CUD)と、ユニバーサルデザイン書体(UDフォント)の市の取り組み状況は？**答**昨年10月から市報でUDフォントを使用。「暮らしのガイド」では最新版でUDフォントと色覚への配慮を仕様書に明記。HPは文字の大きさや背景色を変更できる機能で見えにくさに対応。「防災ハザードマップ」はメディアユニバーサルデザインを、「障害福祉ガイドブック」は誰にとっても配色や字体が見やすい工夫を行った。岩永庁内で統一した方針を持ち全庁的に取り組むべき。**答**東京都のカラーユニバーサルデザインガイドライン

を全庁的に周知する。岩永今後は担当課を決めて推進することを要望する。来年度から小学校の教科書でもUDフォントが使用される。学校現場での対応状況は？**答**9月に新設されたPCでUDフォントが使用できるようになった。色覚対応チョークは半数以上の学校で使用し、今後導入を検討している学校もある。しっかり活用しながら授業改善を進めていきたい。

■ペットボトルの大量消費を見直し、プラごみの減量を岩永ペットボトルの回収量は年間約100トン。5年間で約2倍に増えており発生抑制の施策が必須。公共施設の飲料用自動販売機はビンや缶の容器に変更すべき。**答**SDGsの具体的

無会派(国分寺・生活者ネットワーク)
岩永 康代



な取り組みとして検討し進めていく。岩永昨年3月に東京都水道局がJR有楽町駅前にマイボトル用給水機を設置し、一年間の利用量はペットボトル約5万5千本分。公共施設に給水機を設置したり、市民まつり等でマイボトルキャンペーンを行ってはどうか。商店街や商業施設とも連携して市民や事業者と協働した動きを。答事業者等と意見交換を行って進めてまいりたい。**◆特別支援教育における児童生徒の状態に合わせた柔軟な人員配置と、近隣大学等と連携した支援者の養成や研修の体制づくりを求めた。**

学校キャンプを継続へ / 税の使途の説明を

☆学校キャンプ継続にむけ市主催を続けるべき星) 各小学校を利用した夏休みのキャンプ(学校キャンプ)は、来年度からは市が主催者ではなくなる。理由の説明を求める。

市) これまでの取り組みを通じて、地域との結びつきが育まれてきたので、地域主体で自立して行っていただきたい。今後は、各校実行委員会の主催となる。

星) 市の主催ではなくなることで、仮に大きな事故が起きてしまった場合の責任の所在への不安がある。こうした思いを抱いている実行委員を担う保護者は少なくない。この心配の声を市はどのように受け止めているのか。

市) 来年度以降の進め方は、平成26年度に検討委員会を立ち上げて、実行委員にも入っていた議論の結果である。市とは関係がなくなり、一方的に実行委員会にお任せするという事ではない。個別の相談には対応していく。

星) キャンプに対する市の役割・フォローが大きく変わるのでないのなら、なおさら主催を続けていただきたい。それが、実行委員を担う保護者の安心感につながり、子どもたちのための学校キャンプ継続に結びついていく。「今のままでは来年度以降の取り組みを断念せざるを得ないのではないか」との心配の声は現実に存在している。

国分寺政策市民フォーラム
星 いつろう



市) 決まった方向で進めさせていただきたい。**星)** 各校との合同会議が開かれるが、そこで出される声・意見に寄り添った対応を求める。

☆部活動への「税金の使い方」の公開・説明を星) 中学校の部活動は、保護者もそれぞれの部活に応じて経済的に支えている。そのなかで、部活動への市の支出金について「各校で保護者に説明していただきたい」との要望を受けた。**市)** 授業で使う物を部活で使うこともあり、事務上はどちらも「消耗品」として計上しているため、部活動だけの額を示すことは難しい。